

人が輝き 活力ある街 豊田

ひあてこうすけ

日當 浩介

観光紹介 藤岡 金剛寺しだれ桜 写真提供: ツーリズムとよた

発行日: 令和2年4月吉日

〒473-0925

豊田市駒場町東115-5

TEL: 0565-57-0989

FAX: 0565-57-1021

Kou.hiate@to.at-takaoka.co.jp

発行: ひあて浩介後援会

市政レポート VOL. 20



一日頃よりのありがとうございます。

春の訪れとともに、野花も咲きそろう季節となりました。皆さまにおかれましては益々のご健勝のこととお慶び申し上げます。

太田稔彦市長が再選を果たされ3期目の市政運営が始まりました。私たちも市長与党として、しっかりと運営を支えるとともに是々非々の姿勢で、豊田市の施策・財政運営をチェックし、市民の豊かなくらし魅力ある豊田市に繋げていく所存です。

その令和2年度の財政は、税制改正による法人市民税の一部国税化の影響により市税が大幅に減少しました。このような時こそ、企業で培った力を発揮し効率的な財政運営に向け、引き続き提言して参りますので、今後ともよろしくお願ひします。

くらしの相談

下り坂の横断歩道での安全対策!

皆様の声を実現しました!

相談内容: 駒場町雲目・西の下り坂ではスピード超過、また道路形態による見通しの悪さにより、以前に交通事故が発生している。**通学路でもあり危険なため信号機を設置してほしい。**

対策内容: カーブに近い場所や下り坂、また待機場所がない場所での信号機設置は、**警察庁の基準で設置をすることが叶いません。**子どもを始め歩行者の安全確保の対策として、**カラー舗装を自治区長様に依頼し安全の向上を図ることに繋がりました。**

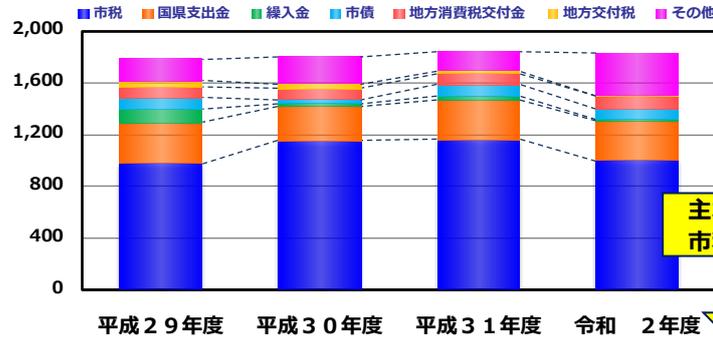


3月定例議会 豊田市一般会計報告

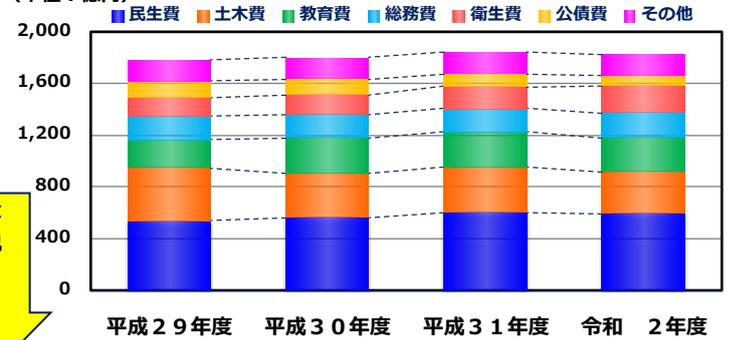
2020年度 豊田市当初予算が決定しました。

令和2年度は「第8次総合計画」を着実に推進し、将来のまちづくりを進めるとともに、**少子高齢化や自然災害への対応など、市民の安全・安心を守る取組を進めることを基本的な考え**として予算編成が行われました。

〔令和2年度歳入（市に入るお金）〕



〔令和2年度歳出（市が使うお金）〕



歳入（市に入ってくるお金）	
市税	市民の皆さんが納めるお金
国庫支出金	国や県から入るお金で、使い道が決められているお金
県支出金	国や県から入るお金で、使い道が決められているお金
地方交付税	使い道が自由な国から入るお金
地方消費税交付金	地方消費税のうち県から配分されるお金（子ども医療費補助・こども園運営等）
市債	国や銀行などから借りたお金
その他	使用料や手数料など

市税当初予算額の推移（単位：億円）

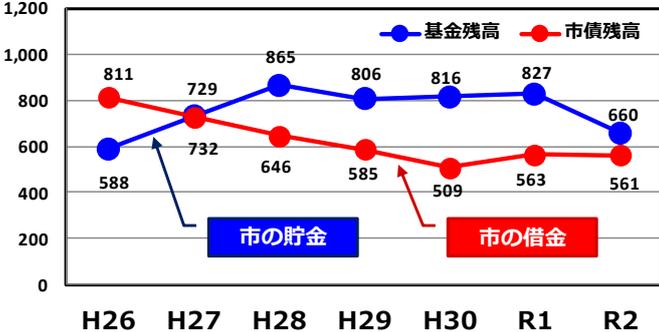
	R2年度	H31年度	増減
個人市民税	326	324	+2
法人市民税	100	278	▲178
固定資産税	418	411	+7

※法人市民税の減少は法人市民税一部国税化の影響

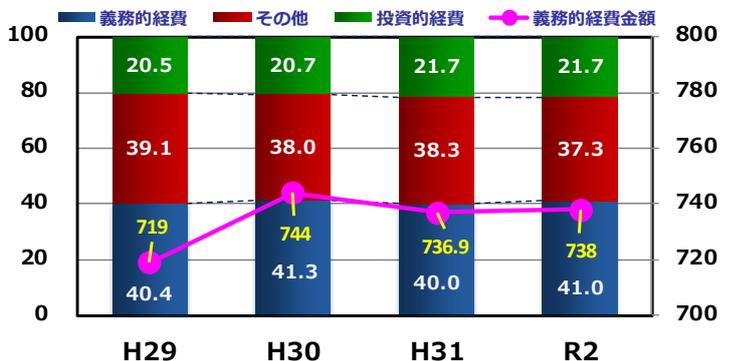
歳出（市が使うお金）	
民生費	高齢者や障がいのある人、子育てなどを支えるためのお金
土木費	道路や公園などを整備するためのお金
教育費	学校整備やスポーツ・文化などを盛んにするためのお金
総務費	地域振興や庁舎管理、選挙などのお金
衛生費	病気の予防、ごみ処理・環境保全等のお金
公債費	借入金（市債）を返すためのお金
その他	消防費や商工費、農林水産業費

一般会計当初予算の総額は**1,826億円、対前年度▲17億円 0.9%の減**。歳入では、**市税が997億円、対前年度▲167億円**の見込み。歳出では、土木費の普通建設事業費で381億円など、将来負担や残高を考慮した上で**市債や基金を有効に活用し計画的なまちづくりへの投資を進める**。

（単位：億円） 基金・市債＜貯金残高と借入残高＞



（%） 性質別内訳の推移（単位：億円）



市債（借金）の借入額は元金償還額（返金額）を超えない額とし、将来につながる投資的事業に活用。基金（貯金）は急激な市税収入の減額に対応するため、**財政調整基金（貯金）を活用**。割合の増加が財政運営を圧迫する義務的経費は約**1%の増加**（人件費、保育の無償化の影響等）となりました。

【今後の財政見通し】

地方交付税合併特例の終了と法人市民税の一部国税化の拡大の影響が本格化し、**市税が減少**することに加え、**社会保障費や公共施設の維持管理が増加**することなど、**厳しい対応が必要**となる。限られた財源を**効率的かつ効果的に市民サービスの充実に還元**できるよう、**財務体質の強化を図るとともに、市民のご理解のもと事業・事務の最適化の取組を進める**。



2020年度の主な重点施策

「すくすく」育つまち「ゆうゆう」暮らせるまち「いきいき」活躍できるまち「わくわく」楽しいまち「こつこつ」備えるまちの5つを柱に「ミライのフツー」を実現するまちづくりを進める。

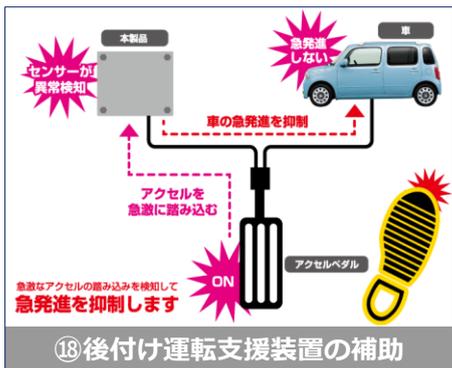
④タブレット端末等 ICT 環境の整備



⑫先進技術を活用したリハビリ



⑭WRC 世界ラリー選手権等



⑮後付け運転支援装置の補助

新規 ①子ども園等における「おむつ回収」：保育現場の衛生環境の向上、保育師・保護者の負担軽減を図る

拡充
要望 ②複雑化・困難化する教育課題への対応：スクールカウンセラーや心の相談員を増員するなど、相談支援体制を強化

拡充 ③子ども医療費の助成：子育て家庭の医療に係る経済的負担の軽減を図るため、高校生・大学生の入院費の無償化を実施

継続 ④新世代の学びを支えるICT環境の構築：校内通信ネットワーク整備と児童生徒一人ひとりへのタブレット端末等の整備

新規
要望 ⑤鞍ヶ池公園の民間活力の導入：民間活力による鞍ヶ池パーキングエリア園地周辺へのキャンプフィールドの整備

継続 ⑥(仮)上郷スマートICの整備：産業活動を支援するため、令和2年度末の完成を目指しスマートインターチェンジを整備

拡充 ⑦新製品開発やスタートアップの支援：新製品・新技術等開発補助金を充実させ、スタートアップに必要な経費を補助

拡充 ⑧中高年齢者の雇用促進：雇用促進のため、新たに独自求人の開拓やセミナーの開催、相談機能の強化等を実施

新規 ⑨ボランティアの活躍支援：団体と社会人ボランティアのマッチングと市民活動の機会創出として体験プログラムを実施。

要望 さらに、参加者や団体のつながりを深める交流の機会創出

拡充 ⑩福祉の相談窓口の運営：介護・障がい・生活困窮など、あらゆる世代に対応する総合相談窓口を現在の2ヶ所に加え、旧市内の5支所に整備し支えあいの地域づくりを全市的に推進

継続 ⑪訪問看護師育成センターの運営：訪問看護人材の確保・育成のため訪問看護育成センターの運営へ負担金を支出

新規 ⑫先進技術を活用した在宅医療の推進：ロボットなどの先進技術を活用したリハビリテーションを地域医療センターに整備

新規
要望 ⑬外国人幼児向け日本語教室の開催：外国人の未就学時を対象に小学校入学前に慣れ親しむ教室を新たに開催

拡充 ⑭ラリーを生かしたまちづくりの推進：クルマのまちとして、自動車文化の醸成と産業の振興を図るため、ラリー開催支援と地域振興につながるイベントを実施

新規
要望 ⑮(仮)SDGs 国際会議の開催：持続可能な開発目標 (SDGs) 達成に向けた本市の取組を国内外にPRし一層の展開を図る

継続
要望 ⑯スマートシティ構築に向けた調査：スマートシティの構築を目指し、実態把握や調査研究等を実施

新規 ⑰マイタイムラインの作成支援：災害時において一人ひとりの適切な避難行動につなげる行動計画「マイタイムライン」の作成を支援し、地域防災力向上を推進

継続
要望 ⑱後付け安全運転支援装置への補助：高齢ドライバーの増加を踏まえ、70歳以上の高齢者を対象に、最大6万円・9割の後付け安全運転支援装置の設置費を補助 (国・県の動向により変更の可能性あり)

新規
要望 ⑲新技術 (AI・RPA・IoT等) の活用推進：市民サービスの向上や業務効率化に向けAIチャットボット[※]や書類の自動データ化機能 (AI-OCR) の導入を図り、効率化・質の向上を図る

要望：会派の政策要望が実現した項目

AIチャットボット[※]

：AI (人工知能) を活用し問い合わせに会話形式で自動応答するプログラム



2020年度に向けた政策要望回答

2020年度の予算編成への反映として、市民フォーラム※1が提出した政策要望に対し、令和2年2月19日に太田稔彦市長より、回答と内容の説明を頂きました。この要望は、皆さまの声を豊田市の施策に反映させる重要な取組です。今年度は、要望をまとめる政策審議会長として大役を任せました。重点施策の中でも紹介させて頂きましたように、今年度も会派要望が多く反映されました。今後も、皆さまの声を具現化し政策に反映できるよう取り組んで参ります。

主な要望内容と回答

※1市民フォーラム：トヨタ系市議10名で構成する会派



市長より回答書を受け取りました。



市長より回答内容について説明。



回答書の内容を確認。

体的要望	回 答
①防犯カメラの効果的な活用	・防犯カメラ設置の推進と表示による視覚化による犯罪の抑止。
②確実な避難行動につなげる取組	・防災ラジオの啓発、SNSによる避難情報の発令、きめ細やかな情報発信による対象者へ明確な情報伝達を実施。
③自転車の安全利用に向けた取組	・安全利用に関する条例を制定し法令順守や意識向上を図る。また通行空間の安全性・快適性向上に向けたハード整備を実施。
⑤SNSを活用した悩み相談体制の充実	・全児童生徒に配布の「相談窓口カード」にSNS相談窓口の情報追記を始め、子ども達が相談しやすい窓口の周知をする。
⑥児童虐待防止に向けた専門員の増員	・虐待相談や妊娠期から産後における切れ目のない支援を行なうため、育児支援専門員等の増員を行なう。
⑧コミュニケーションを促進する条例制定	・障がいや国籍の違いなど、環境に関わらず誰もが安心して暮らせる社会を目指し令和2年の条例制定を目指し進める。
⑩画像添付による道路整備の推進	・市民がHPへ画像を添付できる機能を付加し迅速な対応に。
⑪保育師業務の負担軽減	・R3年度の保育業務支援システム本格導入に向け課題を整理。
⑫民間活力による公園のリノベーション	・鞍ヶ池公園にて市民意見を反映する魅力向上とコスト低減。
⑬土地の適正な用途地域への取組	・生産活動の継続・拡大を図るため、用途地域の変更等といった土地利用規制の見直しと工業地としての機能強化。
⑮AI等の最先端技術を活用したまちづくり	・国のスーパーシティ構想を注視し地域課題の解決を推進
⑯スマート自治体に向けた横断的業務改革	・庁内業務への新技術の活用や5G等の戦略的活用を検討
⑰キャッシュレス決済の導入	・スマートフォン決済ができるサービスを導入予定。市税・介護保険料・こども園料等の支払いをキャッシュレスで決済可能。
⑱水素エネルギー普及に向けた取組	・新たに3ヶ所目を整備。燃料電池バス等を活用し、市民が水素エネルギーと関わる機会創出を図る。

○日々の活動はInstagram・フェイスブックで発信しています。



Instaguram



facebook



Instagram



ひあて浩介

検索

